

## 平成28年度「国有林モニターアンケート(第2回)」調査結果の概要について

国有林を開かれた「国民の森林」とするために、国有林モニターにご登録いただいた皆様からご意見やご要望をお聴きするため、アンケート調査を実施しましたのでその結果をご紹介します。

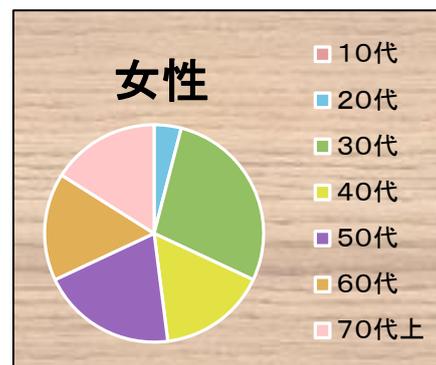
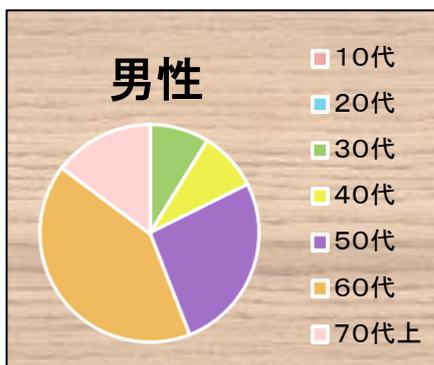
いただきましたご意見については、国有林野の管理経営や広報活動の参考として、今後の近畿中国森林管理局の各種取組に活かしてまいります。ご協力いただき、ありがとうございました。

1 調査時期	平成28年12月～平成29年1月	
2 調査対象者	国有林モニター	59名
3 調査方法	アンケート用紙の郵送による回答、HP上での回答	
4 回収状況	アンケート依頼	59名
	アンケートの回答	49名
	アンケート回答率	83%

5 モニターの居住地  
管内、各府県ごとに、0～14名。(奈良県不在、広島県14名)

### 6 モニターの構成

区分	男性	女性	計
10代	0	0	0
20代	0	1	1
30代	3	7	10
40代	3	4	7
50代	9	5	14
60代	14	4	18
70代上	5	4	9
計	34	25	59



### 7 アンケート結果(概要)

質問1	「レクリエーションの森」をご存知であった方は53%でした。
質問2	山や森林に行く(行きたい)と思うきっかけにつきましては、「散策・ウォーキング」(37%)が最も多く、次いで「森林浴や森林セラピー」(27%)でした。
質問3	具体的な旅行先を決める際に決め手としては、約3分の2の方が「風景や自然、文化財、食べ物など目的そのもの」と回答されました。
質問4	山や森林の観光地でもっと整備して欲しいことにつきましては、「清潔なトイレ」(21%)、「案内標識」(14%)、「遊歩道」(13%)、「案内所や休憩所」(12%)という回答が多くありました。
質問5	もし、中山間地域に住み、林業に従事することとなった際に不安に感じることや周りの支援が必要とお考えのものにつきましては、半数以上の方が「収入の低下、もしくは収入や雇用の安定」と回答されました。
質問6	林業従事者の増加に行政の支援が必要なものにつきましては、半数近くの方が「事業量や収入の確保など、労働者を必要とする環境の整備」と回答され、このほか「就業先のあっせんや情報提供」(21%)、「住環境や子育て環境の整備」(21%)の回答が多くありました。
質問7	国産材のイメージとしてお考えのものにつきましては、「国産材は値段が高いイメージがある」が3割を超え、次いで「国内の森林整備につながる」(28%)という回答でした。
質問8	モニター活動につきましては、約8割の方に「ほぼご満足できた」と回答をいただきましたが、ご満足いただけなかった方々からのご意見を参考に、より良いモニター事業に努めてまいります。